

公益財団法人日本バスケットボール協会  
平成25年度 臨時評議員会 議事録

日 時：平成26年3月15日(土) 13:00～16:20

場 所：スタンダード会議室 五反田店

出 席：＜評議員＞

森野和泰、田中雅之、藤原修、小野安壮、保坂明、沼澤宏、安齋司、岡田裕昭、遠藤嘉津敏、池田照、田中敏郎、大野健男、齋藤徳也、半田真一郎、天野寛、真田功、山田洋司、松倉弘英、林厚子、島澤司、渡邊正知、門川浩人、土田正文、後藤明、湯浅暢宏、新宅博生、宮倉義輝、岡嶋隆文、穂山靖夫、玉井尚樹、川武修、木下博順、近藤豊志、井手口孝、祖岩亨道、大塚英彰、野田明宏、加藤裕三、上元康正、鮫島俊秀、日越延利、安田勝彦、榊原みどり、市川数馬、小口賢司、北澤和基、荒井邦夫、有本功、宮地弘孝、和田雅也、白谷慶子の各評議員

＜理事＞

深津泰彦会長職務代行、丸尾充、梅野哲雄の各副会長、星芳樹専務理事、伊藤信明、大神訓章、大山妙子、熊谷秀樹、坂本昌彦、佐々木三男、品田奥義、庄司義明、高橋雅弘、田窪徹、野村俊郎、原田茂、福井晴次、堀井幹也、水谷豊、吉田利治の各理事

＜監事＞

高原洋太郎、松岡憲四郎、山崎均の各監事

＜特任委員＞

小倉恭志、片山正明、西井歳晴の各特任委員

欠 席：青木隆、山本良和、宇田川貴生、藤村昇、小坂悦夫、中村哲夫、増島篤、森崎秀昭の各評議員、麻生太郎会長、鈴木秀太、吉田長寿の各理事、内山英司、上島正光、林直樹特任委員

オブザーバー：山見博康裁定委員会委員長、金井克仁弁護士／裁定委員会委員

## 議 題

- (1) 平成26(2014)年度事業計画・収支予算について
- (2) 会長候補者の選任について
- (3) 役員候補者の選定に関する規程の改定について
- (4) 基本規程の改定について

---

### 1. 定足数の報告

堀井総務部長より定刻における出席者数の報告があり、定款第16条第2項に基づき、評議員総数(59名)の過半数の出席(出席:51名)を満たすため、会議成立が宣せられた。

---

### 2. 挨拶

深津会長職務代行より開会の挨拶があった。

---

### 3. 議長選出

堀井総務部長より、議長選出にあたってはこれまでの評議員代表者による協議を受け、議長に中日本・岐阜県の島澤司評議員、副議長に東日本・埼玉県の田中敏郎評議員および西日本・長崎県の大塚英彰評議員が推薦され、承認された。

---

### 4. 議事録署名人選出

議事録署名人については、定款第19条により議長および出席評議員の代表2名以上が必要になることから、議長より議事録署名人として秋田県の保坂明評議員、京都府の湯浅暢宏評議員が推薦され、承認された。

---

### 5. 議事

#### (1) 平成26(2014)年度事業計画・収支予算について（星専務理事）

平成26年度の事業計画、収支予算について、資料に基づき説明があった。

予算編成においては、従来の収支計算書ベースでは収入1,517百万円に対し、支出1,517百万円とし、オリンピック対策、2017年対策、Pリーグ対策、組織強化、普及・登録推進、2015年FIBA ASIA女子選手権大会の招致を重点事業としたことが説明された。また、2012年度に生じたFIBA ASIAカップを主因とした赤字分については、当初2013年度、2014年度の2ヶ年で補填する予定であったが、今年度のウインターカップ、オールジャパンの収益増により、大半が今年度中に埋められる見込みであることが補足された。

本議案に関連して、報告事項のうちの男子強化関係、Pリーグについて説明が求められ、また、さらに関連する事項としてJBA改革委員会等について続いて説明された。

○男子強化関係について（丸尾副会長）

2014年度以降の男子強化活動の方向性を検討するために、特別委員会として男子強化戦略委員会を立ち上げ、過去10年間の男子日本代表チームの総括、有識者等からの多面的な意見とFIBAの強化部門とのミーティングを踏まえ、検討を行った。

2020年に向けた目標設定ならびに2014年以降の男子強化活動の方向性と具体的取組みについての答申内容を資料に基づき説明。

○Pリーグについて（丸尾副会長）

2012年6月の理事会で承認された「2013年新リーグ基本方針について」にも記載の通り、次のステップとしてPリーグ（先端推進リーグ）を加えた3階層による国内リーグ構造の確立を目指すものである。2020年東京オリンピックの開催決定、FIBAからの期待と指摘という環境要因、そして何よりも男子日本代表の競技力向上のために、予定通りPリーグの設置とリーグ構造の整備を行うべく、答申を出した。答申の要旨は次の2点。

1. 2016-2017 シーズンからトップリーグ（PリーグならびにAリーグ）をプロリーグとして運営する。
2. 2016-2017 シーズンから全国リーグの構造を3階層とし、Pリーグを全国リーグ1部（トッププロリーグ）、Aリーグを全国リーグ2部（育成プロリーグ）、Bリーグを全国リーグ3部（普及オープンリーグ）とする。

また、JBA内に「プロリーグ設立準備室」、「リーグ構造改革推進室」を設置し今後の業務を担う。さらに、2

014年4月には参入を検討するチームの代表者にも参加を募り、「2016ー2017 シーズン・プロリーグ(Pリーグ/A リーグ)検討会議」を設置し、リーグの諸制度等の検討を行う。

(bjリーグから理事・評議員宛に発信されているレターについて)

前回の理事会での答申承認後、NBL、NBDLについてはリーグ、チームともに説明を行い、今後前向きに取り組んでいくこととなっている。

bjリーグについてはなかなか日程の調整がつかなかったが、3月4日にリーグに対しては説明を行った。ただし、全てが既決事項であるかのように誤解されている感がある。bjリーグ所属のチームに対しても説明を行う予定だが、まだ日程調整ができていない。

○JBA改革委員会について (深津会長職務代行)

広報・事業活動の強化、オールジャパン、ウインターカップ、日本代表戦などのさらなる事業化、オフィス機能の強化等を目的としたJBAの機構・構造改革を最大のミッションとし、また、Pリーグプロジェクトの推進および男子強化戦略委員会の答申内容を進めていくため、特別委員会として「JBA改革委員会」を設置した。役員改選後の新体制に反映していくため、5月の理事会には答申を出す。

(3月14日付けの読売新聞の記事について)

報道される内容は必ずしも正しいものでない。プロリーグについては前回の理事会での答申承認後、各企業チームを回って話をし、続けたいという意向を確認している。クラブチームの意向も聞いてそれぞれが納得できるかたちにしていきたい。FIBAからの要請も受け、この機会に長年の課題を解決していきたい。

以上の説明について、Pリーグに関し、bjリーグ所属チームを傘下に持つ都道府県協会にもきちんと説明してもらいたい。bjリーグが抱える負債について登録費が使われるようなことがないか心配している。bjリーグ側も約10年間実績を作ってやっている、bjリーグ側の事情も丁寧に聞いて、何とか成し遂げてほしい。東京オリンピックという新しい事実に基づいていろいろなことが動き出している、チームに対してきちんと説明をし、まずはベクトルを一つにして、そのあとに問題解決に取り組んでほしい。bjリーグのチームはJBAへの不信感や感情的な軋轢がある、JBA側から歩み寄る方策を明確に示してほしい。といった意見があり、トップリーグの設立に向けては、bjリーグとは覚書を交わし、同じテーブルについて真摯に話し合いを進めてきたつもりであったが、前回はプロ化の決断が出来なかった。今回はプロ化をすることを明確に決断した。不信感があるのであればまずはそれを取り除き、bjリーグのチームにもしっかりと説明していきたい。との説明があった。

以上の議案説明および関連事項の質疑応答を踏まえ、本議案について審議の結果、賛成多数により原案通り承認された。

<承認>

(2) 会長候補者の選任について (会長候補者選定委員会 島澤委員長)

2月26日に開催した会長候補者選定委員会にて協議の結果、次期会長候補者として深津現会長職務代行を選出したこと、この結論をもって評議員会に推薦したいとの提案があった。

これについて、委員会の様子等も聞きたいとの意見があり、島澤委員長より委員会の概略が補足説明された。さらに、委員会に出席したメンバーからも委員会の概況について報告があり、採決の結果、賛成多数により、原案通り承認された。

<承認>

(3) 役員候補者の選定に関する規程の改定について（堀井理事）

役員候補者の選定に関する規程の第4条〔役員候補者〕第2項第4号の改定案が提案され、賛成多数により原案通り承認された。

<承認>

(4) 基本規程の改定について（堀井理事）

基本規程の第2条〔順守義務〕、第25条〔都道府県を代表する理事〕、第94条〔認定団体〕、第161条〔対象者〕、第195条〔施行〕の改定案が提案され、賛成多数により原案通り承認された。

<承認>

---

## 6. 報告事項

(1) 総務関係について（堀井理事）

2013年度の登録状況として、チーム加盟数34, 284、競技者登録数619, 823、コーチ登録数13, 174、審判登録数6, 898となったことおよび各都道府県別の詳細等が報告された。

また、2013年6月～2月の各委員会等の活動状況が報告された。

(2) 男子強化関係について（丸尾副会長）

（第1号議案説明に関連して報告）

(3) Pリーグについて（丸尾副会長）

（第1号議案説明に関連して報告）

(4) JBA改革委員会について（深津会長職務代行）

（第1号議案説明に関連して報告）

(5) 国体関係について（野村理事）

3月13日の国体検討委員会において、茨城国体から少年種別のU-16化の導入が決定したことが報告された。

以上